

留学報告書

西尾祐哉

2023年9月

2020年9月より Stanford University の Electrical Engineering 専攻の Ph.D.プログラムに在籍している西尾祐哉です。本報告書では、スタンフォードでの2023年1月から2023年8月までの活動について報告します。

1. 研究

[共著論文](#)が publish されました。本論文は柔軟な電子材料によって人間の皮膚の機能を模倣した電子人工皮膚に関するものです。誘電率の高い伸縮可能な絶縁膜を開発することによって、トランジスタの駆動電圧を低減し、Neuromorphic 回路を実装しました。また、ラットをモデルにして電子人工皮膚と体性感覚野を閉ループシステムでつなぎました。

2023年7月には co-advisor として指導していただいた先生がスタンフォード大学からハワイ大学へ異動するというので、手続き等に追われていました。集積回路の知識はもちろんです。解くべき課題やビジョンの設定、研究の進め方等、数多くのことを学ぶことができました。また、ミーティングや対話外でも彼の意思決定や行動を通じて学ぶことが多かったです。今でも毎週 zoom で個別ミーティングをしてくださっているので、これからもたくさんの方の知恵を学んで一緒に研究を楽しんでいきたいです。

また、主著論文を submit しました。無事査読にまわったので accept されるように最後まで頑張ります。

2. 生活

先日 whale watching に行ったら船酔いして大変でした。今後鯨を見に行く方がいましたら覚悟して行ってください。

3. 最後に

2023年前半も充実した時間を過ごすことができました。先日参加した船井奨学金の夏の交流会では財団の方々や他の奨学生と有意義な交流をすることができました。最後になりましたが、常日頃から手厚くご支援していただいている船井情報科学財団に心から感謝いたします。また、いつも応援して下さる家族や友人に感謝申し上げます。